



社会医療法人近森会

発行 ● 2011年7月25日

びろっば

8

Vol.301

www.chikamori.com 〒780-8522 高知市大川筋一丁目1-16 tel.088-822-5231 fax.088-872-3059 発行者●近森正幸/事務局●川添昇

働くママの強い味方 ● 院内保育室 そると

お日さま燦々の開放感



登録数163人、うち72人常時利用。これはお昼寝中

静寂のとき

プールや遊具で遊び疲れ、昼のお弁当も食べ終わった子どもたちは、12時半過ぎ、倒れ込むようにお昼寝に入る。0歳児から主に三歳児まで、50人近い子ども達の動きが止まり、木の香りいっぱいフロアには束の間の静寂が訪れる。スタッフは、保護者への連絡帳や翌日の担当者への引き継ぎ帳記入など、このときばかりとカーテンを閉めた薄暗い部屋で机に向かう作業に精を出す。

愛らしい喧噪が活力源

そんなすき間時間活用の名人でもあるベテラン保育士の松本智江リーダーには、働くママ応援団としての熱い思いがある。「いちばんそばに連れていたい時期に我々に預けてくださるのです。だからこそ、余計に子どもたちには喜んで来てもらいたいし、親御さんには安心してドンッとしていただきたいと思います。これに尽きます!」と。

午後3時近くになって子どもたちが起き始めると、フロア全体にまた元の可愛らしい喧噪が戻ってくる。上の階の看護部長室には一日中愛らしい声が届いているらしいから、その賑やかさは容易に想像できるだろう。子ども好きスタッフが揃っているからこそ、この喧噪をスタッフの活力源にできているともいえるのだ。

家と同じくつろぎ空間を創りたい

「鉄は熱いうちに打て」式の知育教育を望むママ達の声もあるようだが、養



左 ● 用意された栄養バランス抜群のお弁当を皆んなで食べているところ
上 ● 保育目標は、「ルールを守って楽しく遊ぼう」
右 ● 「ひよこ」「うさぎ」「ぱんだ」組が分かれてすぐ外で毎日水遊び



育方針の柱はまず「基本的な生活習慣の確立」であり、「家で過ごすのと同じようにくつろげる空間を提供すること」を目指しているという。

託児スタッフの矜持

託児に携わるスタッフにとっては、自分たちの働きが病院スタッフの安定就労や再就労に直接繋がるという思いが強い。だから、病院スタッフの就労

時間以外でも、勉強会や職員旅行など、あくまでも病院スタッフの都合最優先を目指したい、と意気込んでいる。松野武彦ディレクターは、「子ども好きのスタッフに助けられ、とてもやり易い。また、信頼して預けてくださるスタッフの皆さん方にも感謝です」と、いかにも裏方で支える管理職ならではの声を寄せてくれた。

パワーの源



近森 正幸

現在進めている近森病院の全面的な増改築工事もおと3年半で完成する予定であるが、この困難を伴う事業は、私が理事長としてこれまで行ってきたマネジメントの総決算ではないかと思う。

このマネジメントの発想の原点は「医療資源は有限だ」ということにある。限られた医療資源をいかに有効に活かしていくかが病院経営ではないだろうか。そのためには「選択と集中」で機能を絞り込むことが大事になる。たとえば、スタッフの機能を絞り込むことで専門性が高まり、労働生産性が

飛躍的に向上する。スタッフの機能を絞り込めば絞り込むほど、手が回らない部分が出てくるので多職種が「分業と協業」でチーム医療を行なうことになる。チーム医療は結果であり、大事なのはむしろ機能を絞り込むことで、こうした発想がマネジメントの発想だといえる。

現在近森病院は急性期病院の機能に絞り込んで、他の医療機関との地域医療連携に熱心に取り組んでいる。また重症病棟の機能を絞り込んで、ICU、CCU、救命救急病棟、SCU、HCUなどの高規格病棟と一般病棟との病棟連携に本格的に取り組もうとしている。さらに、スタッフの業務を絞り込み多職種による、全国でもトップクラスのチーム医療を近森会全体で展開している。

近森会のパワーの源は、部科長の先生方を始め看護部、コメディカル、管理部などのすべての部署でマネジメントを身体で理解し、実践しているところではないかと思っている。

ちかもり まさゆき



バックヤードに「看護」の意味を見出す

近森病院看護部長 久保田 聡美

5月に新管理棟が完成して以来、近森会グループのバックヤードの充実が話題にのぼる機会が増えてきました。ここでバックヤードを辞書で調べてみます。

【backyard】1 裏庭。2 背景。バックグラウンド…経営学的には、裏で現場を支える領域を指します。では、看護部においてバックヤードを担う人は誰でしょうか。勿論、部長である私もそうですが、より現場に近い立場の師長さんや主任さんと一緒に取り組んで

います。スタッフ一人ひとりの意見も大切です。

現場のナース一人ひとりがキラキラとした目で働ける環境を整えていくために、バックヤードの充実は不可欠といえます。しかし、「看護」が大好きで、素晴らしいナースである人ほど、主任や師長といった立場になるとちょっと患者さんから離れてしまった感じがして、自分は何をすればいいのか、これでいいのかと悩むことが多いようです。

面接の時にそんな悩みを打ち明けて

内科の診療は、①救急医療、②入院時の早期診断と治療、③外来での長期的安定化、の三つの柱でなっています。

近年、高齢化社会の到来や医療の高度化などによって、入院を要する患者さんが中核病院に集中する傾向が高まっており、近森病院でも過去20年間で内科の年間新入院患者数は5倍強に増加しています。

限られたマンパワーのなかで、入院診療のレベルを維持していくためには、退院後の患者さんを昔のように毎回当院でフォローしていくことは不可能になってきており、数年前から、いつもはかかりつけの先生に診ていただき、数力月に1回ぐらいの割合で当科に定期受診していただくという、病診連携をお願いしています。

私の流儀 4

病診連携



近森病院副院長
はましげ なおひさ
浜重 直久

内科医の真価を問われる重要な役割と考えていますので、かかりつけの先生にまるなげではなく、共に協力しながら患者さんをサポートしていく近森病院なりの病診連携を続けていきたいと思っています。

患者さんにはご迷惑をおかけすることもあると思いますが、ご協力をお願いします。

高血圧や糖尿病などリスクファクターの管理による再発防止や、軽体調の変化などはかかりつけの先生に対応していただき、当院では定期的チェックによって専門的なアドバイスやダブルチェックの役割を果たすとともに、いざという時にはいつでも救急受診していただき、必要な場合は入院治療で対応させていただいています。

個人的には、外来での長期的な安定化（症状を軽減しかつ長生きしていただくこと）は、

8月の歳時記 たますだれ 玉簾

画像診断部診療放射線技師
西森 美千代

別名レインリリー。雨の後で一斉に咲き始めるこの花が家の塀に沿ってずらっと並んで咲いている姿は壮観ですが、私は数年前この花が路上のアスファルトから一輪“ポツン”と咲いているのを見た事があります。力強く上を向き咲いている姿を見た時こんな環境のなかでもがんばって咲いているこの花に感動したことを思い出します。



絵も筆者

外来センター棟

●現在建設中の「外来センター」は11月7日(月)から運用スタートします。外来センターは完全予約専門外来です。

11月7日(月)以降のご紹介は必ず予約センターへご予約下さい。詳細は追ってご連絡いたします。

くれる師長さん達も少なくありません。そんな中でも、何より「チームワークを大事にしたい」、「自分の家族だったらどうしたいのかを考えてケアできるナースを育成したい」、「いつも患者さんがピカピカでケアならどこにも負けない病棟に」等々、夢を語ってくれ始めました。

あちこちでSOSが出始めた新人ナースの声にも真摯に耳を傾け「私も新人の時はそうやったき!」と泣いたり、笑ったりの毎日です。もちろん、簡単に解決しない問題も多く、これでよかったのだろうか、もっといい方法はなかったのかと皆で頭を悩ませています。そんな姿を通して、管理部の事務職のスタッフだけでなく、「看護師」の資格を持った人達が「看護管理者」として「バックヤード」に関わるこの大切さを再確認するのです。

くぼた さとみ

第4回写真展 会期 10月6日~12月1日

展示会場 管理棟3階会議室前ホール
募集期間 8月22日~9月26日

★発表 表彰式は11月予定
★主催 コミュニケーション委員会
共催 写真倶楽部「瞬」

各賞

- 理事長賞 2点 ●管理部長賞 2点
- 統括看護部長賞 2点
- コミュニケーション委員長賞 2点
- 古茂田賞 2点 ●奨励賞 3点
- よさこい賞 2点

近森病院透析室

地デジ放送へ変わる機会に、見やすい天井吊りのテレビを設置しました。



肩腱板断裂に対する 関節鏡視下腱板修復術

近森病院整形外科科長 西井 幸信



今回は肩腱板断裂に対する関節鏡視下での修復術についてお話します。肩関節は関節の中で最も大きな可動性を有する関節です。肩関節の動的安定性に最も大きな役割を果たしているのが肩腱板で肩甲下筋腱、棘上筋腱、棘下筋腱、小円筋腱から構成されています。中高年以降、肩腱板は加齢による摩耗も加わって損傷を受けやすくなります。

肩腱板が損傷されると肩関節の動的安定性が失われて痛みが出現し、肩の挙上が困難になります。手術による

肩腱板修復が必要になりますが、最近では関節に関節鏡と呼ばれるカメラを

挿入して糸のついたスクリー（アンカー）を使用することで関節鏡視下で修復を行うことができるようになり、治療成績もよくなっています。

当院でも2010年から鏡視下腱板修復術を行っており、1cm程度の切開を5カ所程度行うだけで肩を大きく切開することなく手術ができます。詳しいお話を聞きたい方は当院整形外科医にご相談ください。 にしい ゆきのぶ

Chikamori ★ Kitchen 11

ボンゴレロッソ

暑い夏がやってきました。今回は夏の野菜、トマトを使った料理のご紹介です。トマトの鮮やかな赤い色は、リコピンという成分で、強い抗酸化作用があります。この作用によって、老化やしみのもとになる活性酸素を除去し、アンチエイジング効果が期待できます。これは油を使った料理法によって、吸収がぐんと高まります。旬のトマトを使って、「おいしく」アンチエイジングしながら猛暑を乗り越えましょう。

●材料（1人分）

- ・スバゲティ 70g
- ・塩 適量
- ・オリーブオイル 大さじ2
- ・にんにく 1かけ
- ・あさり 1/4パック
- ・白ワイン 大さじ2
- ・トマトソース（☆） おたま1杯
- ・鶏がらスープ 小さじ1/2
- ・ゆで汁 適量
- ・バジル（乾燥） 適量

（☆）トマトソース（5人分）

- ・トマト缶 2缶
- ・プチトマト 1パック
- ・オリーブオイル 30ml

臨床栄養部管理栄養士
主任 内山 里美



リコピン豊富なボンゴレロッソ



●作り方

▶（☆）の材料を鍋に入れ、中火でトロミがつくまで煮込むとトマトソースのできあがり。缶詰は完熟の生のトマト（種をとって代用）もオススメ。にんにくはみじん切りにする。▶なべに湯を沸かし、塩をいれ、パスタをゆでる。▶フライパンにオリーブオイルをいれ、弱火でんにくをじっくり炒める。あせりと白ワインを入れ、強火にし、あせりの口が開くまで蒸し焼きにする。トマトソース、ゆでたパスタ、ゆで汁、鶏がらスープを入れて全体を絡ませ、味を整える。▶器に盛り付け、バジルを振って出来上がり。
うちやま さとみ

私の趣味

自家製ルッコラを使ったサラダと鯛のアクア・パッツア

健康管理センター保健師
枝重 佳奈



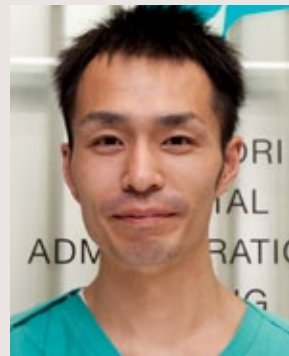
去年、イタリア料理の教室に参加したことがきっかけでパスタや魚料理、ケーキ作りに挑戦しています。新鮮なものを使って料理したいと思い、バジルやルッコラ、タイムなど育てています。発芽した時は、可愛くて毎朝のぞいていました。とても癒されますね。無農薬で育てているので、最近可愛い葉も青虫やバッタがきて虫食いだらけに。悲しいけれど、「虫も生きてるんだ」と思い直し、残ったちよっぴりの葉でサラダにします。

材料は、新鮮な鯛一尾、アサリ、イカ、プチトマト、黒オリーブ、ケーパー、にんにく、イタリアンパセリ、白ワイン、EXバージンオイルです。このアクア・パッツアは、魚介のだしがきいて、スープも鯛の身もほくほくで本当においしいです。残った鯛の身とスープで、リゾットやパスタが作れてしまうのも楽しみのひとつです。 えだしげ かな

リレーエッセイ

プライベートを充実させて仕事の活力に

近森病院 ICU 病棟看護師 山邊 亮平



僕は、昨年11月に晴れて入籍をしました。そして、今年4月に休みをいただき新婚旅行として、大分県の別府に行ってきました。別府の街では、硫黄の匂いが漂い、温泉だけでなく側溝や公園など、いたる所から湯気が立ちのぼっており、初めて目にした自分にはとても不思議な光景に映りました。

別府では、温泉だけでなくサファリパークや水族館にも行き、温泉にぼうぶらが浮いていたり、ヤギにベルトを食われそうになったりというトラブルもありましたが、時間に追われることのないゆったりとした時間を楽しく

過ごすことができました。

日頃、出不精であり旅行などをすることはありませんが、今夏は香川と横浜に行くことを計画中です。これらによりプライベートを充実させ業務にあたっていく活力としていきたいと思っています。 やまべ りょうへい

乞！熱烈応援

新しい知識も麻酔に反映させ

近森病院麻酔科科長 安保 佳苗



改めて抱負の意味を考えた時漠然としたものしか思い浮かばず、辞書で調べたところ「現在心に抱いている思い。何かをしようと思って心の中に抱いている思い」と記載されて

いました。

思い描いていた意味とは若干異なり自分自身で思い込みがあることを実感、これを機に慣習的に行っていることも先入観がないか確認を行い、必要あれば周りに伝えたいと思います。また「新しい医学的な知識も麻酔に反映させて患者さんに」という思いを忘れず仕事をしていきたいと思っています。

4月に当院に赴任し3カ月以上経ちますが手術室で働いているスタッフの一部しか名前を覚えることができていないので、早く覚えたいと思っています。

あぼ かなえ

ファミーユ高知の「役割」を果たすために

社会福祉法人ファミーユ高知事務長 松本 充夫



総務部より出向課長待遇

社会福祉法人の事務として仕事を始めてはや3年が過ぎました。その間、県からの施設の移管作業、新築工事の打ち合せ、

就労作業についての営業などを行い、色々貴重な勉強をさせていただきました。現在、障害者の一般就労については政策的にも大きなポイントになっています。今後少しでも多くの方が近森会グループや一般企業で就職し地域生活できるように、病院の現場の皆様や関係している協力機関の皆様に、障害者の方々の実習や研修の協力を依頼することがあるかと思っています。これからも法人の役割である、障害者の方々への一般就労の機会の提供と、一般就労できなくても安心して地域生活できるための支援ができるよう、センター長、施設長をはじめとする現場の皆さんを精一杯バックアップしていきます。

まつもと みつお

近年急増している糖尿病

近森病院糖尿病内分泌代謝内科科長 品原 正幸



つい先日、就任のご挨拶をさせていただきましたが、今回は当科で扱う疾患のうち、糖尿病に関して話をさせていただきます。

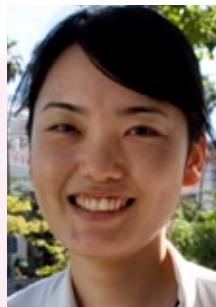
糖尿病については、皆様も御存じの通り生活習慣の変化に伴い、予備軍も含め近年急増しています。慢性的な高血糖の結果、全身の血管障害から様々な合併症を引き起こし、生活の質や生命予後にも影響を及ぼしますが、初期は自覚症状に乏しく、放置や治療中断される場合もしばしば経験します。日々の治療にかかりきりで、啓発まで手が回っていないのが現状ですが、今後、早期診断・早期治療、発症の予防に向け、どのようなことができるのか検討していきたいと思っています。これからも引き続き精進してまいりたいと思いますので、宜しく願いいたします。

しなはらまさゆき

縁の下の力持ちを目標に

近森病院薬剤部薬剤師主任

野本 真紀



この度、医薬品情報(DI)担当として主任をさせていただくこととなりました。

いったい普段は何をしているの？と色んな方からよく聞かれてしまうのですが、薬を採用する際の手続きや、処方や注射オーダーのマスター管理、薬に関する問い合わせへの対応、それに医薬品集の作成、院内外への医薬品情報の提供など、その名の通り医薬品情報を管理するのが主な業務内容になります。

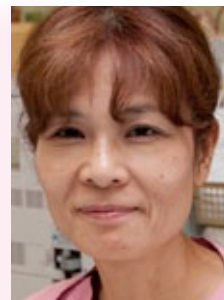
薬の調剤や服薬指導業務とは違って目には触れにくいのですが、DI業務を引き継ぐ際にかけてもらった「DIは薬剤部の顔になる存在だからね」という言葉はいつも忘れないように心がけています。

まだまだ未熟ですが、薬剤部の“縁の下の力持ち”を目標に今後も業務に取り組んでいきたいと思っていますので、よろしくお願い致します。

のもと まき

看護ケアを大切に

近森病院5階西病棟看護師主任 大西 ゆかり



今回、主任心得のお話を頂いた時、

「こんなにも歳もとっているし、いまさら面倒だな、今まで通りスタッ

フの一員としての自分のやるべき仕事だけに集中して動く方が楽だな」と思い、お受けする気持ちは全くありませんでした。

ただ、何度か看護師長さんと話をしている際に、急性期の病棟で業務に流されることが多く、看護ケアや、患者さんと寄り添うことが少なくなっている現状を考えさせられました。

何ができるか分かりませんが、看護ケアを大切にしていきたいと思いますのでよろしくをお願いします。

おおにし ゆかり

抗菌薬、教育担当として

近森病院薬剤部薬剤師主任

中野 克哉



抗菌薬、教育担当として主任に任命されました。この大役の任を頂けた事は一重に、これまでの経験や、院長先生をはじめ

医師の先生方、他職種の方から知識、考え方を教えていただいたおかげだと感じております。

抗菌薬部門では抗菌薬の適正使用の推進に努め、投与量設定のみならず、感染臓器の抗菌薬組織移行性、感染臓器毎にカバーすべき起炎菌まで考慮した抗菌薬の提案まで行い少しでも早く患者さんの回復に繋がるように貢献できればと考えております。

なかの かつや

JIN 一仁一

近道なんてないですね

初期研修医 梅下 仁

初期研修医 田井 龍太

現在消化器内科でお世話になっています。僕は高知大学から「たすきがけシステム」で1年間近森病院に所属させていただいています。

去年、研修病院を決める際、雰囲気の良いさに惹かれて近森病院を選択し、現在皆さんにご迷惑をおかけしつつも自分なりに一生懸命研修させていただいています。働いていて楽しいのは、最初はできなかったことが、徐々にではありますができるようになっていることを実感できたときです。忙しくてもその実感があるからこそ楽しい研修生活ができていると思います。

近森病院での研修は、システムはもちろんのこと、皆さんが優しく、研修医にとってとても働きやすい環境にあると思います。先生方やコメディカルの方々にわからないことは積極的に質問させていただいています。よく変な質問をしていると思いますが、すいません。近森病院での研修は1年しかありませんが、とても濃い1年にしたいと思っています。これからもよろしくお願ひします。

うめした じん



楽しい同期に囲まれて刺激的な毎日をおすごしています。初めは何も出来ずドキドキしっぱなしだったけど、今はほんの少しだけ落ち着いてきました。最近になってわからないところがようやくわかってきて、覚えるべきことがこんなにも多いんだと思うようになりました。でも、一步一步前に進んでいくのみです。臨床の現場のことは教科書には載っておらず、毎日が勉強です。日々の積み重ねで、少しずつ一人前に近づいていけるのかなと思います。近道なんてないですね。

最近、上の先生方の凄さをより一層実感するようになりました。これも、以前は単に凄いなって思っていたのが、病棟や外来、急変時など全ての面においてそれぞれの凄さが見えてくるようになりました。どうして、自分より忙しいはずの先生が自分より少ない時間で内容の濃い診療ができるのかと、最近よく思います。

考えていても仕方ないので、自分が今出来ることをしっかりとこなしていくことにします。頭だけじゃなく体を動かして、全身で、五感で学んでいきます。他の研修医と一緒に頑張ります！

たい りゅうた

【地域医療講演会】

●平成23年8月15日(月)
17:30～19:00 管理棟3階会議室
「糖尿病とともに生きる患者さんを支援する～自分らしく生きることを支えよう～」
講師 日本赤十字看護大学看護実践・教育・研究フロンティアセンター
認定看護師教育課程
糖尿病看護コース専任教員
青木美智子先生

●平成23年8月26日(金)
18:00～19:30
「メディカル・コーチング(仮)」
講師 天理よるづ相談所病院
循環器内科部長 中川義久先生

●平成23年9月2日(金)
19:00～21:00 管理棟3階会議室
「すぐ効く漢方薬大集合
(一服で効く、一両日で効く)」
講師 静仁会静内病院院長
井齋偉矢(いさいひでや)先生

【地域医療講演会 実習編】

平成23年10月23日(日)
10:00～15:00(予定)
管理棟3階会議室

第4回 心臓血管ウエットラボ

テーマ「心臓の解剖と心臓治療」
心臓を全く見たことがない人から透視でしか見たことがない人、さわってみたい人まで、さらには今さら他人には聞けない立場の人もどうぞご参加下さい。
(職種に制限はありません)

院外エッセイ

黄金の日々

蝦名 則

えびな のり●1950年8月1日青森県東津軽郡今別町で生まれる。雑誌編集者を経て1982年に古書店「えびな書店」開業。1987年古書目録「書架」発行、現在に至る。著書に『美術本屋の旧刊案内』(こつう豆本139、日本古書通信社)、編著に『浅川巧著作集』『回想の柳宗悦』(いずれも八潮書店)今年6月には『えびな書店 店主の記』(港の人)を発行



今年の8月で齢61を数えるが、3回の入院生活を体験している。高校3年4月の最初の体験が印象に残っている。自転車通学をされていて経験のないほどに疲れ、余計に寝ても食べても治らない。異常な疲労感に病院に行くとウィルス性肝炎で黄疸がでて、明日入院だ、というのである。

それから5月下旬まで5週間の入院生活が始まった。最初はダルくて点滴が続いたが、1週間もたつと食欲が出てきた。ようやくオツムの具合がはつきりしてきて、見回すとそこは20人もいる大部屋で、忘れ難い人々との出会いがあった。20歳から毎日一升飲んで40歳前に「あたって」人とか、日中は至極穏やかでどこも悪くなさそ

うなのに、寝静まってしばらくするとひどい喘息が始まり明け方によく眠りにつく人とか、職人さんらしい気風のいい白髪の角刈りのおじさんは蕎麦屋さんで、茹でたそばの冷やし方を私に伝授してくれた(それを私はいまだに忘れないで実行している)。中にはちょっと変わったおじさんもいて、その人が毎朝蕎麦屋のおじさんの処に挨拶に来ていた。

得難い環境の中で過ごした5週間は私を「成長」させてくれたようだ。しみじみ病気や人生を思うことがあった。肝臓にいいからと高校の友人が毎日シジミのみそ汁を作って持ってきてくれたことも、いま思い出した。彼とはいまも親友なのだが、この夏は酒をもう

一本余計に持っていかねばなるまい。

その入院中、昭和43年5月16日9時4分の十勝沖地震に遭遇した。朝の点滴の最中で、みると点滴が止まっている。ブザーで看護師さんと呼ぶと駆けつけてくれたが、私はそのとき人生で初めて「蒼い顔」というものを見た。入院患者に被害はなく、ただ街中の商店の棚から商品が落ちて散乱しているのを好奇心から見に行った。みそ汁の友人は「降りろ」と叫んで校舎の2階からテニスコートに飛び降りたそうである。こんな風で一受験生の4月と5月は印象深く過ぎたが、幸いに浪人もせずに進学できた。顧みれば黄金の日々だったのかもしれない。

その小包、開けてもいいですか

管理部 渉外部長 野並 豊



盆暮れには贈答の機会が増えます。病院や家庭にも、色々な物が届いたりすることでしょう。皆さんは、全く心当たりのない人から小包が届けばどう

されますか。これは、十数年前の夏の出来事です。ある男性が、いくつかの宅配小包の中の一つに送り主の名前や住所に心当た

りがない（実際は忘れていた）ものがあつたことから、これを不審物として対処しました。最終的に警察へ通報し、警察の爆発物処理担当者が出動して調べた結果、中身は冷凍魚（クエ）と判り事なきを得ました。しかし、中身のクエは食えず仕舞いでした。

事案が大げさになりましたが、安全という観点からすると、この男性の判断及び対処は適切だったと思います。今は、爆発物や劇毒物を小包で送りつけ相手に危害を与えるような治安情勢下とは思えませんが、逆恨みは無きにしも非ずです。

職場で、いわゆる不審物を見かけた際には、自分自身はもとより、患者さんや職員を含め周りの方々の身の安全を図るためにも、それらに安易に触れるのではなく、まずは総務部までご一報ください。

のなみ ゆたか

よき友くすし

15



勘弁してよ～

近森病院薬剤部 松高 史恵

便通促進させます。十分な水で服用すると効果的です。

・刺激性下剤：強力な効果が得られます。大腸刺激性下剤（プルゼニド錠やラクソベロン錠・内用液など）腸の蠕動運動を促進したり、大腸粘膜を刺激します。内服後約10時間で作用発現するため寝る前に服用して朝に排便を促します。

・その他：腸内で炭酸ガスを発生し蠕動運動を促進する新レシカルボン坐薬や、浣腸薬などもあります。

便秘の改善にはまず歩行運動や、食物繊維・水分を摂るなどの日常生活を見直すことが重要です。便秘の原因を診断してもらい、症状に応じてお薬を使用しましょう。 まつたか りえ

また便秘……、もう勘弁（便）してよ、って方は結構多いのではないのでしょうか。便秘の原因は、生活習慣、ストレス、薬剤性、手術、悪性疾患などさまざまです。今回は便秘に対して主に使用されるお薬を紹介します。

- ・緩下剤：おだやかな効果で比較的安全なため長期投与に適しています。
- ・塩類下剤：（酸化マグネシウムやマグミット錠など）腸管内に水分を移行させ、内容物を軟化増大させ、その刺激により

2011年6月の診療数 企画情報室

近森森グループ	
外来患者数	18,630人
新入院患者数	825人
退院患者数	793人
近森病院	
平均在院日数	15.00日
地域医療支援病院紹介率	86.58%
救急車搬入件数	419件
うち入院件数	224件
手術件数	447件
うち手術室実施	291件
→うち全身麻酔件数	188件

● 平成23年6月度県外出張件数 ●
件数71件 延べ人数130人

研修医優秀演題賞受賞にあたって

近森病院消化器内科 鈴木 美香

今回、第106回消化器内視鏡学会四国地方会において、研修医優秀演題賞を受賞することができました。演題

は「直腸静脈瘤出血に対して経皮経門脈的静脈瘤塞栓術および硬化療法を施行した一例」です。

第106回日本内視鏡学会四国地方会において研修医優秀演題の一つに、鈴木美香さん（消化器内科）の「直腸静脈瘤出血に対して経皮経門脈的静脈瘤塞栓術および硬化療法を施行した一例」が選ばれました。

この症例は異所性静脈瘤の一種である直腸静脈瘤に対し、消化器内科、放射線科が丸となって治療を行った症例です。私も微力ながら、初期研修の放射線科研修中、実際に血管造影に参加させていただいた症例でした。

学会発表そして優秀賞受賞を良い機会とし、今後も期待に応えられるよう、日々努力していきたいと思えます。最後になりましたが、ご指導くださった栄枝先生をはじめとする消化器内科、放射線科の先生方ありがとうございました。

すずき みか



左から放射線科 宮崎延裕科長、消化器内科 栄枝弘司主任部長、初期研修医 梅下仁

心電図解析は 趣味のひとつ

文学少年は医学の世界へ

四国や九州には、深谷部長の父上の設計された橋がいくつか架かっていて、その影響もあってか、「後世に遺る土木工学の仕事」を深谷部長は目指していたはずだった。それが、なにゆえ医学部に進むことになったのか。

高校二年までは文学少年で、小説ばかりを読みあさり、およそ医学部進学とはかけ離れた生活だったそうだが、文学の世界における人間の「生と死の深みにハマった」のが、結局は今日の道に通じることになったのだろう。

長年勉強しても、見えない底

不整脈の診療を長年続けてきた部長だが、「まだまだ解らないことが多い、勉強にはきりが無いよ」と言われる。反面、長年勉強しても奥が深い不整脈学で、いろいろなナゾに迫る面白さを見つけておられるようでもある。

医学生や研修医たちが、心電図や不整脈について質問をしてくれるのが大好きだという。若い人たちの質問の中には案外に本質的な鋭い質問があったりして、また勉強になるからでもある。不整脈の心電図を解析するのは趣味でもあるとのことだが、奥にあるナゾを系統的に考察していく過程が楽しいからに他ならない。

不整脈診断、これだけは外せない「講義」

取材中にたまたま地域医療連携室から急いで心電図を読んで欲しい旨の依頼が舞い込んだ。部屋に届けられた数枚の心電図を見た部長曰く、「これはカテーテルアブレーション(専用の管の先の電極から高周波電流を流す不整脈治療)のいい適応例だ。この不整脈は根治できる。じゃあ、早速に紹介して下さいね(以下略)」と、そんな幸せな展開が繰り返された。

「不整脈には出たり引っ込んだりするものが多い。診察や検査の時にはおとなしく隠れたりして、簡単には正体を掴ませないものがある。検査というが、多くの検査は今を調べているだけで、24時間心電図だってそんなもんだ。だから不整脈の診断では『言葉』が非常



に大切な武器になる。患者さんから効率よく問診で情報を集めることは不整脈の診断に重要。もちろん、たくさん種類があり、メカニズムがある不整脈の診断確定や治療方針を考えるには、心電図で確認して解析することは大切なので、そのための色々な努力がある」と、まるで「講義」のようだ。長崎大学医学部で20年間も教官として活躍された部長らしい。不整脈は、患者さんの中で「ひとつの意思をもった別の生き物」のように振る舞うことがあるなど、話がなにより熱を帯びてきた。

若いころは「仙人」のような暮らし

部長の医師生活の最初の10年ほどは仙人のような生活だったという。別に霞を食べていたわけではないようだが、要するに昼も夜も病院にいて、病棟の住人で、常に患者さんの近くにいたという。そして診療や勉強以外には新聞、テレビなどにも接せず俗世間とは隔離していたという。

循環器内科を専攻するようになった頃が、カテーテル電極で得た心腔内電位情報を解析して不整脈のメカニズムを診断する臨床心臓電気生理検査(EPS)の黎明期で、部長は教授の勧めもあってこの領域の本邦のパイオニアの一人として研究に診療に邁進することになった。さらに仕事にハマり、こ

頃の部長は世の中で何が起きているのかあまりよく知らなかったという。

「出没する不整脈は治療が的確でない」と複雑化したり、悪化することが珍しくない。焦って治療することで、からまった糸のようになり、治療が泥沼化することさえある。だから、「より冷静に、正確に、論理的に、確実にと心がけることが大切だ」という。そのためには不整脈に関連した多くの知識や情報が必要で、EPSの不整脈診療への貢献は一つの時代を作った大きなものだ。

また、EPSは心電図時代の不整脈学から第2の時代を発展させ、さらに第3のカテーテルアブレーションの時代を支えている。もう、部長の話はとどまるところを知らない……。

「仙人」から普通の人へ

仙人から普通の人にもどり、社会人らしくなったのは結婚してからだが、それでも家にいることは少なかつたようだ。奥さんは料理がとっても上手だったとのことで、「カミサンのおかげで、苦手だった野菜が食べられるようになりました」。

若い頃、ときどき美食していたという当時の趣味は今も続いているようだが、不整脈学の奥の深さを知って読む一枚の心電図もナゾに迫る楽しみを、やはり与えてくれている。だから、心電図解析はやはり「趣味」だといってよい、とのことである。



私の宝物

近森リハビリテーション病院
4階病棟介護福祉士
高野 直美



写真は、私の大切な宝物(^_^)の息子の海生4歳です。先輩ママさんに、まだそんなことを言うのは早い！といわれるかもしれませんが、この写真を見て本当に成長したな～と思いました。小さく生まれ、2歳になるまでは2時間ごとに夜泣きをし、週に一回は病院に行っていたことが、今となっては遠い昔のようです。

そんな息子も、昨年から海デビューをしました。名前の通り海を愛する強い男になって欲しいので、今年もどんどん海に連れて行きたいと思っています。本当に大切な愛する宝物です！

たかの なおみ

高知検診クリニック

診療科目

●人間ドック、各種検診、脳ドック

クリニック探訪

<http://www.kenshin.or.jp/> http://www.kochi-iryu.net/pb_md_index/pb_md_list

高知市知寄町二丁目 4-36 〒780-0806 E-mail yoyaku01@i-kochi.or.jp

☎ 088-883-9711 Fax. 088-884-2450



私たちがお待ちしております！



健診機関は受診者の健康を守ることが大切で、そのためには病気を早期発見することと、予防することに尽きると思います。

我々スタッフは日々研鑽を積むとともに個性性を大切にした支援を行います。

所長：元木 徳治(とくじ)先生
●昭和 25 年 12 月徳島県出身、52 年 3 月徳島大学医学部卒業。平成 17 年独立行政法人国立病院機構高知病院診療部長。平成 22 年 4 月より現職

健診時間	平日 8:45~16:45
	土 8:45~14:30
	日曜、祝日は休みです。



● オプション検査 ●

- 脳ドック (料金 16,800 円)
最新の超電導 MRI 装置と、専門医による診断(※要予約)
- 胸部マルチスライス CT (料金 5,250 円)
肺がんには最も有効な検査
- 乳がん検診 (料金 2,100 円~)
マンモグラフィや乳腺エコー
- 歯科口腔検診 (料金 3,150 円)
専門医による診察とパノラマ X 線撮影による診断

図書室便り (2011 年 6 月受入分)

- ・ダーモスコピー・ハンドブック/大原國章 (他著)
- ・炭酸ガスレーザー治療入門美容皮膚科医・形成外科医のために/葛西健一郎 (他著)
- ・MDCT の基本パワーテキスト CT の基礎からデュアルソース・320 列 CT まで/陣崎雅弘 (監訳)
- ・図解臨床輸血ガイドイラストでわかる輸血の基本戦略/高松純樹 (監修)
- ・心電図の読み方パーフェクトマニュアル理論と波形パターンで徹底トレーニング!/渡辺重行 (他編集)
- ・対人コミュニケーション入門看護のパワーアップにつながる理論と技術/渡部富栄
- ・看護の約束 命を守り、暮らしを支える/秋元典子
- ・AIS90 Update98 日本語対訳版/日本外傷学会・(財)日本自動車研究所 (監訳)
- ・国際疾病分類腫瘍学第 3 版 ICD-O /厚生労働省大臣官房統計情報部 (編集)
- ・都市地図高知市、南国他/昭文社 (編集)
- ・だから人は本を読む/福原義春
- ・「自分らしい仕事」があなたを変える!/福原義春
- ・私は変わった変わるように努力したのだ/福原義春
- ・対話私たちが大切にしてきたこと/福原義春、ルチアーノ・ベネトン
- 《寄贈本》
- ・THE SPINE Third Edition Vol.1,2 / Richard H.Rothman (他編集)
- ・医療の信頼と魅力づくり〈コンセプト・ノート〉/石田章一 (編著)
- ・風の記憶/富田忠雄
- ・新井幸人写真集はるかな尾瀬/新井幸人
- ・前田真三写真集白い幻想/前田真三
- ・渡辺章正写真集ふるさとの四季愛媛/渡辺章三
- ・シリーズ日本のカメラ No.91 花の撮影 Q & A /三上邦男 (編集)
- ・シリーズ写真百科花を撮る/朝日新聞社 (編集)
- ・グラフ立山黒部アルペンルート/立山黒部貫光(株) (編集)
- 《別冊・増刊号》
- ・別冊医学のあゆみ関節リウマチ “治療をめざす” 最新治療コンセンサス/竹内勤 (編集)
- ・腎と透析 Vol.70 増刊号スタンダード透析療法/「腎と透析」編集委員会 (編集)
- ・日本医師会雑誌第 140 巻特別号 (1) 生涯教育シリーズ 80 画像診断 update 検査の組み立てから診断まで/大友邦 (他監修・編集)
- ・Nursing BUSINESS 2011 年夏季増刊事例で学ぶ病棟マネジメントに役立つ法律・制度の基礎知識厳選 32 /金井 Pak 雅子 (他監修・執筆)
- ・EMERGENCY CARE 2011 年夏季増刊救急患者のフィジカルアセスメントどこを見る・何を診る・鑑別診断につなげる/大友康裕 (編集)
- ・老年精神医学雑誌第 22 巻増刊号 - III 第 26 回日本老年精神医学会プログラム・抄録集/斎藤正彦 (他編集)
- 《視聴覚資料》
- ・VIDEO JOURNAL of Japan Neurosurgery Vol.17 No.3,4 /永田泉 (他監修)
- ・呼吸器・循環器急性期ケア 11 巻 2 号付録 CD-R 心電図重要波形判読のポイント 20 /小沢友紀雄 (監修)
- 《寄贈資料》
- ・日本医師会医療安全推進者養成講座 (VHS) /日本医師会総合政策研究機構 (監修)
- ・法律学概論、会計学概論、医療政策概論、診療情報管理概論、医師賠償責任保険論、紛争・訴訟予防論、医療施設管理論、リスクマネジメント概論、国際疾病分類法マニュアル

ニューフェイス

①所属②出身地
③最終出身校
④家族や趣味のこと、自己アピールなど



さの まさひこ①神経内科
医師②高知県高知市③高知
大学医学部④都内の病院に
属する後期研修医で半年お
世話になります。他職種の
方たちともコミュニケーション

佐野 正彦

を密にしていきたいと思ひます。

編集室通信

自転車がブームですが、私もいい歳になって毎週末時間を見つけては乗っています。月末には愛媛の久万高原にてヒルクライムレースに出場予定で完走目指して頑張ります！皆さんも健康の為に自転車始めませんか？ 奥

診療数と出張件数は 6 面に移動します。